



～さらに安全・安心なまちをめざして～

セーフコミュニティ通信

第8号

発行 平成29年3月 郡山市セーフコミュニティ推進協議会



高校生の意見を参考に！交通安全対策委員会

昨年11月25日（金）市役所本庁舎正庁で、交通安全対策委員会を開催しました。

会議には、尚志高校から2名の生徒を招いて、高校生から見た交通安全をテーマに話し合いが行われました。

交通安全対策委員会の委員から、「友達や家族と交通安全等について話す機会があるか？」との質問に対し、高校生のお二人からは、「小学生の頃はあったが、今はない。

交通安全教室で、ビデオを見るのも良いが、怖い体験をしないと身にしみないと思う。」といった率直な意見がありました。

高校生のお二人の意見を参考に、交通安全対策委員会では、更に具体的な取り組みを検討して参ります。



交通安全について尚志高校の生徒さんとの意見交換

高校生の皆さんの意見、とても参考となりました！



2月14日 第2回外傷サーベイランス委員会を開催

セーフコミュニティ外傷サーベイランス委員会が、2月14日（火）に市役所本庁舎正庁で開催されました。

今回は、昨年10月に市民4,000人を対象に行った市民意識調査アンケート結果内容について検証を行い、平成29年3月末までにアンケートの取りまとめ作業を完了させ、結果を公表することを決定しました。

外傷サーベイランス委員会では、更なるデータ収集・分析を行い、各対策委員会の取り組み活動を検証して参ります。



市民意識調査アンケート結果について協議



こども達が作成した地域マップを紹介

各対策委員会が具体的な取り組みを開始しました！



～ 取り組みの一例を紹介 ～

交通安全



- 重点課題① 高校生の自転車事故が多い
- 重点課題② 高齢者の事故は重傷になりやすい
- 重点課題③ 交差点での事故が多い

具体的な対策、活用する既存の取り組み等

- ・交通事故多発地点マップ作成
 - ・各団体、企業、学校等でのマップ活用
 - ・交通安全教室（スケアード・ストレイトの導入）
 - ・運転免許証返納時のコスト比較
 - ・自転車専用レーンをうまく利用しよう！！
- ※スケアード・ストレイトとは、スタントマンが事故の瞬間を再現し、恐怖を実感させる方法

2015(H27)年 交通事故多発交差点(年間6件以上発生箇所)



交通事故対策委員会が作成した交通事故多発地点マップ

自殺予防

- 重点課題① 働き盛りの男性の自殺が多い
若者の自殺が減らない
- 重点課題② 健康や経済問題が原因として多い
- 重点課題③ 相談窓口が知られていない
相談することが難しい、できない

具体的な対策、活用する既存の取り組み等

- ・自殺未遂事例の調査
- ・ゲートキーパー養成講座、各種研修
- ・周知啓発方法の改善、関係窓口の連携
- ・本音を語れ、一人じゃないと感じられる場所



具体的な取り組みについて検討している自殺予防対策委員の皆さん

9月は自殺予防月間！「秋の交通安全運動出動式」では、交通安全対策委員会との合同で自殺予防のチラシ配布を行いました。



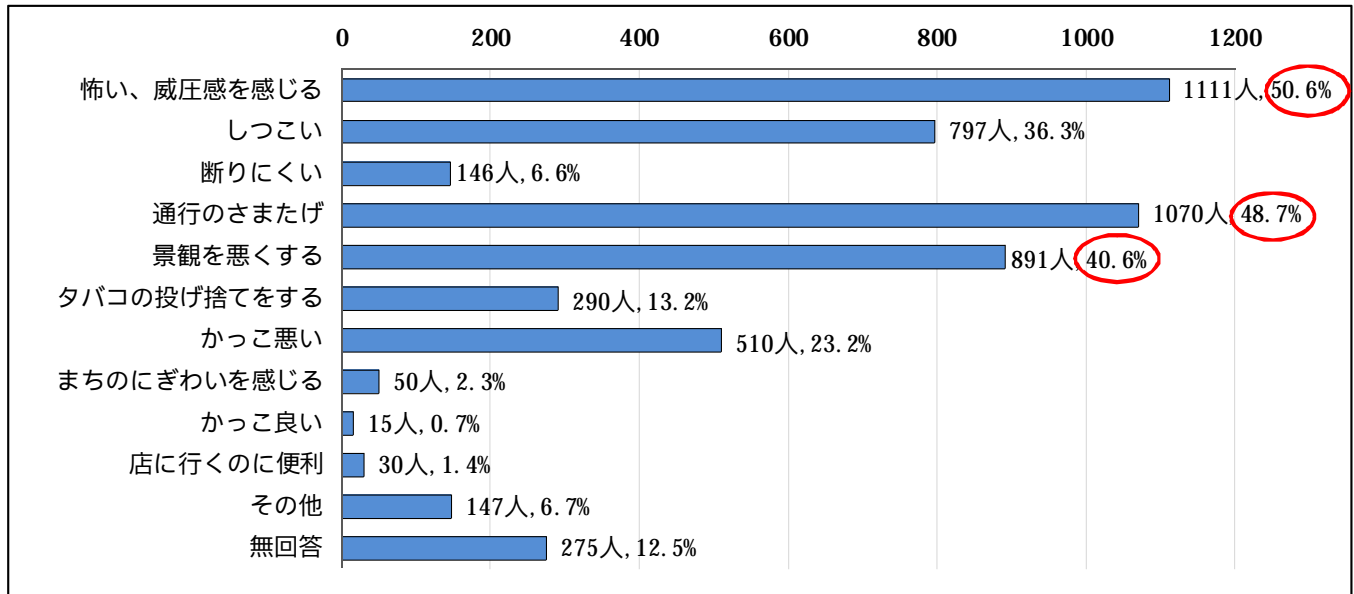
秋の交通安全運動出動式でのチラシ配布活動

～シリーズ～ データから郡山市をみてみよう



(第3回) 平成28年度市民意識調査アンケート結果より

郡山駅前の違法客引きや違法スカウト行為(通称「カラス族」)への印象について
(複数選択 回答者 2,197人)



郡山駅前の違法客引きや違法スカウト行為への印象として、「怖い・威圧感を感じる(50.6%)」、「通行のさまたげ(48.7%)」、「景観を悪くする(40.6%)」といった意見が上位を占めています。

防犯対策委員会では、「郡山駅前の体感治安が悪い」というテーマを重点課題の一つに挙げ、各団体との連携による違法客引き防止パトロール等の取り組みなどを通し、違法客引きや違法スカウト行為の撲滅を図って参ります。

ダメ! 禁止されている行為



客引き

次の店等の客となるように、特定の人を誘う客引き行為。

- ・キャバクラ等の、客をもてなして飲食させる営業
- ・ファッションヘルス等の性風俗営業
- ・風俗案内所



スカウト

次の店等の従業員等となるように、特定の人を誘うスカウト行為。

- ・キャバクラ等の、客をもてなして飲食させる営業
- ・ファッションヘルス等の性風俗営業
- ・アダルトビデオ等への出演

誘引

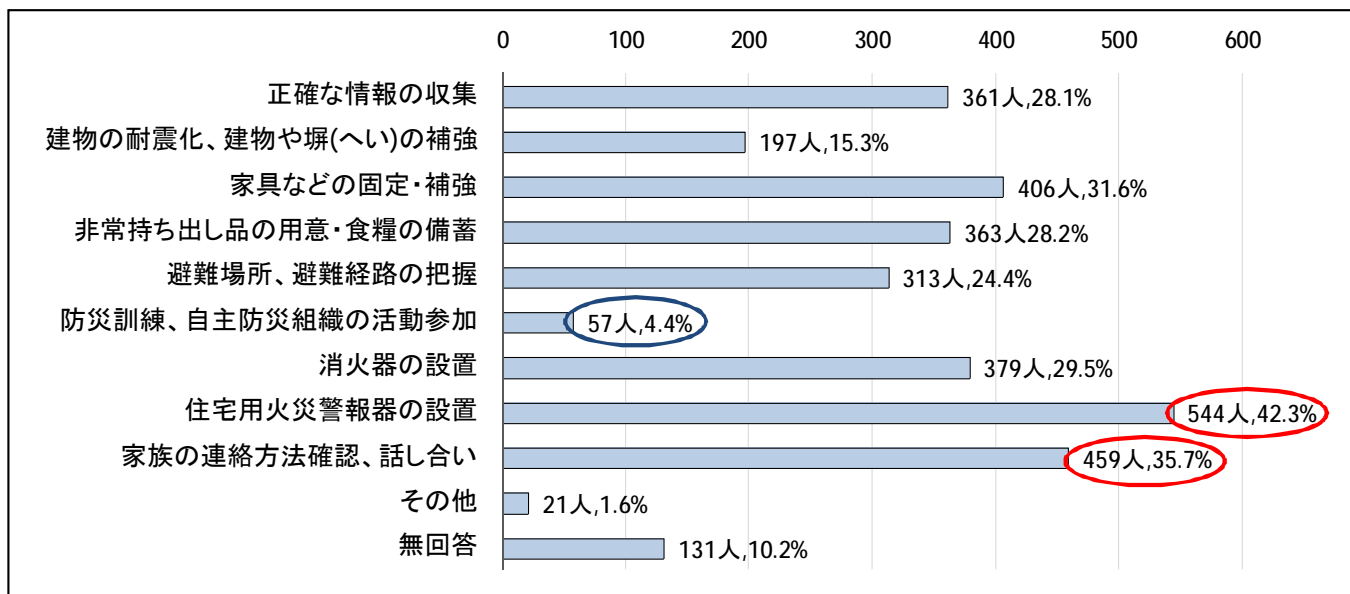
客引きやスカウトを目的として、不特定の人に呼び掛けたり、ビラ等を配布・提示する誘引行為。

客待ち

店頭や路上等において、客引き・スカウト・誘引の相手を待つ行為。

事業主が、上記の客引き・スカウト・誘引行為を依頼することや従業員等に行わせることも禁止です。

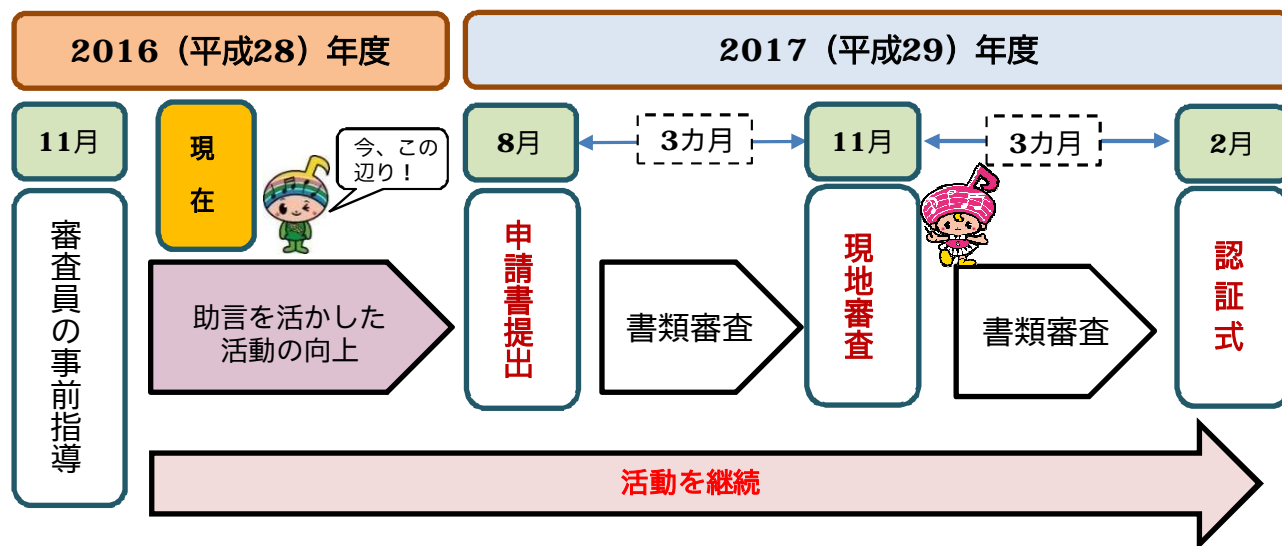
家庭での災害対策で現在行っているもの（できているもの）（複数選択 回答者 1,285人）



家庭での災害対策で、「住宅用火災警報器の設置（544人・42.3%）」、「家族の連絡方法確認、話し合い（459人・35.7%）」については、多くの方が「現在行っている」又は「できている」と回答しているのに対し、「防災訓練、自主防災組織の活動参加」については、「参加している」または「参加できている」と回答したのは、わずか57人・4.4%の方でした。

災害時は、お互いに助け合うなど、地域のつながりが大切です。地域の防災訓練等に参加して、万々に備えておくことが重要です。

国際認証取得までの今後の予定



発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目23番7号

事務局 郡山市市民部市民安全課セーフコミュニティ推進室

電話 024-924-2151 Fax 024-921-1340

e-mail si.minanzen@city.koriyama.fukushima.jp

今までのセーフコミュニティ通信はこちらから→

